

熊本県立天草青年の家 指定管理者 平成29年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
施設概要	<p>所在:上天草市松島町合津5500番地</p> <p>施設:本館、講堂、宿泊棟、体育館、屋根付き運動場、キャンプ場等</p> <p>目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000円(4施設合計、利用料金制)

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	41,632人	41,293人	前年度実績 41,323人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>近隣スポーツ施設の改修工事に伴い、その間、スポーツ施設が利用できなかったため、スポーツ団体の宿泊利用が減少したが、出前事業・日帰りの利用者を確保することにより、前年並みの利用者数を確保し、目標値比99%の水準を達成した。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組みを期待する。</p>			

## 2 管理業務実施状況

### 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年12回	専門業者に委託
	エレベーター設備点検	年12回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	地下タンク保守点検	年1回	同上
	ボイラー保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	高架水槽清掃	年1回	同上
	簡易専用水道検査	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	年2回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	し尿汲み取り	年1回	同上
	吸収式冷温水器点検	年3回	同上
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】			
施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

## 運営事業実績

### (主な事業・イベント)

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
“ほっ”とする場所アマサー(全4回)	6~12月	104人	地域の中老年の方々の生きがいづくり、地域の人材や資源を活用し、地域社会の活性化を図る。
あませい楽校(全8回)	6~1月	155人	地域の子どもたちに年間を通じた体験活動機会を提供し、地域の魅力に気づき、地域を誇りに思う子どもを育て、将来を担う子どもを育成する。
あまくさ無人島キャンプ	8/6~13	24人	大自然の中での共同生活を通じて、仲間と協働するための思いやりの心、工夫する力を身につけるとともに、人間としてのたくましさを育む。
弾丸! マリントラベラー	9/3	27人	自然の中での活動を通じて同世代の仲間との交流を深め、心身のリフレッシュを図るとともに、今後の活力を生み出す。
明日にきらめけ! チャレンジ元気ッズ!	10/14,15	34人	自然体験活動を通じて、外遊びの楽しさについて理解を深め、子どもたちの創造力・コミュニケーション能力を育む。
“みんなのあませい”秋の祭典	11/26	351人	青年の家を地域住民に開放、体験活動を通じ青年の家の活動への理解を深め、地域に根差した施設としての発展を図る。
“みんなのあませい”グラウンドゴルフ大会	11/27	135人	グラウンドゴルフを通して、地域における生涯スポーツを推進するとともに、地域住民の交流を深める。
第7回天青トレイルラン大会	1/20	42人	青年の家周辺の自然に親しみながら、地元の森岳、千巖山を駆け抜け、トレイルランの醍醐味を味わう。
あませい通学合宿(全2回)	2月	20人	子どもたちは共同生活を通して自立心を育み、親は子離れを体験することで、家庭教育を見直す機会を提供する。
のぼらんね! 山BOY・山GIRL	3/4	38人	山登りの楽しさを幅広い世代の方々に体験していただき、山登りへの興味・関心を高める。

#### 【点検・調査結果及び評価】

地域の自然等の特色を活かしたプログラムを継続して実施するとともに、新規事業として「あまくさ無人島キャンプ」、「あませい通学合宿」を実施。ともに、長期の体験活動プログラムとして教育的効果が高く、体験活動の普及・啓発に寄与しており、今後も継続して実施することを期待する。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	352 日	358 日	98.3%
	宿泊可能日数	345 日	358 日	96.4%
	利用日数	308 日	294 日	104.8%
	利用率	87.5%	82.1%	106.5%
	利用者実数	14,627 人	15,622 人	93.6%
	利用者延べ数	28,076 人	30,679 人	91.5%
キャンプ場	開館日数	352 日	358 日	98.3%
	宿泊可能日数	345 日	358 日	96.4%
	利用日数	17 日	19 日	89.5%
	利用率	4.9%	5.3%	92.8%
	利用者実数	232 人	353 人	65.7%
	利用者延べ数	882 人	877 人	100.6%
出前講座等	利用者実数	12,335 人	9,767 人	126.3%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>近隣のスポーツ施設の改修工事に伴うスポーツ団体の宿泊利用の減少により本館利用は減少したものの、出前講座は積極的な広報活動の成果もあり、大幅な利用増となった。</p> <p>全体として、前年並みの利用者数を確保したことは評価できる。</p>				

#### 4 管理経費の収支状況

収入			
項目	内訳	金額(円)	
利用料金収入	本館	一般 2,870 人、高校生以下 10,044 人、就学前の者 95 人	4,563,040
	キャンプ場	一般 120 人、高校生以下 560 人、就学前の者 1 人	93,200
	宿泊を伴わない利用	一般 3,461 人、高校生以下 717 人、就学前の者 371 人	381,950
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	76,680,000	
企画事業等収入	12 事業	1,542,780	
その他活動収入	出前講座 60 団体	202,000	
プログラム活動料金		346,850	
食事代		22,884,820	
シーツ等クリーニング代		1,234,980	
雑収入		805,231	
合計		108,734,851	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分		

支出		
項目	内訳	金額(円)
人件費		63,980,302
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	13,200,888
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	36,390,172
企画事業費		1,452,481
合計		115,023,843
【点検・調査結果及び評価】		
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。		

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	平成29年4月1日～平成30年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	355団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	287	80.8	56	15.8	10	2.8	0	0	0	0	2	0.6
	活動内容	162	45.6	36	10.1	11	3.1	1	0.3	0	0	145	40.8
	職員の受入れ対応	303	85.4	34	9.6	11	3.1	1	0.3	0	0	6	1.7
	職員の指導・助言	239	67.3	35	9.9	15	4.2	2	0.6	0	0	64	18.0
	食堂スタッフの対応	114	32.1	45	12.7	20	5.6	3	0.8	0	0	173	48.7
	食事の質	79	22.3	76	21.4	23	6.5	7	2.0	1	0.3	169	47.6
	食事の量	85	23.9	69	19.4	22	6.2	8	2.3	1	0.3	170	47.9
	屋内の施設・環境	188	53.0	76	21.4	23	6.5	4	1.1	0	0	64	18.0
	屋外の施設・環境	184	51.8	67	18.9	24	6.8	1	0.3	0	0	79	22.3
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		294	82.8			35	9.9			0	0	26	7.3
利用者からの意見等	特になし												
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>前年度に比べ、「非常によい」の評価が各項目で低下している。要因を分析の上、改めてサービスレベルの向上に取り組んでいただきたい。</p> <p>4施設全体の食堂サービス改善のパイロット施設として、食事メニューの改善に着手したことは評価できる。アンケート結果からは今のところ成果は確認できないものの、引き続き改善の努力を継続し、食堂サービスの評価向上につなげていただきたい。</p> <p>昨年の指摘事項ではあるが、項目(活動内容及び食堂関連)によってアンケート無回答の割合が高く、利用者の評価がアンケート結果に正確に反映されていない可能性があるため、アンケート方法の工夫・改善を希望する。</p>													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
食事の質の改善	<p>4施設全体の食事提供改善のパイロット施設として、共同体本部に設置された食堂改善協議会と連携し、食事メニューを見直し、改善を図った。</p> <p>提供を控えていた生野菜も、利用者の希望に応え、安全衛生管理研修を実施の上、提供を開始した。</p> <p>共同体本部主催で、4施設厨房担当者が北九州の青少年教育施設の食堂を視察、意見交換を行い、そこで得た知見(アレルギー対応・注意喚起等)を現場に反映させている。</p>
【点検・調査結果及び評価】	
<p>指摘事項に対する対応・取組みは評価できる。</p> <p>宿泊利用者にとって、食事が施設全体への印象を大きく左右する。予算の制約はあるが、日々の工夫、改善を継続し、施設利用者満足度の向上、利用者数の増につなげていただきたい。</p>	

## 8 その他

アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
--

